

京都の都市景観の創生シンポジウム

～ 日本建築学会・京都の都市景観の創生特別委員会の取組～

現在、京都市は、歴史都市・京都の創生を目指し、大幅な高さ規制等を含む「新景観政策」を推進しています。この政策の着実な推進に向け、京都市が取組むべき方策に関する基礎調査の実施を目的として、日本建築学会では「京都の都市景観の創生特別委員会」を設置しました。

これまでに日本建築学会は、1998年～2002年に「京都の都市景観特別研究委員会」を、続いて2003年～2006年に「京都の都市景観の再生特別調査委員会」を設置して、京都の都市景観の創造的再生に関する調査研究を行い、二次にわたる「京都の都市景観の再生に関する提言」を発信してきました（2003年6月、2006年6月）。こうした蓄積をふまえて、今回、新たに特別委員会を組織し、歴史都市・京都の現代都市景観のあり方、及び景観評価システムのあり方について、理論と実践の両面から調査研究を開始したところです。

本シンポジウムでは、これらの研究課題にどのように取り組むべきかをめぐって、多角的な視点から検討を行い、京都の都市景観のランドデザインについて展望するとともに、現行の新景観政策を実施する上での具体的な課題・方策について考えてみたいと思います。

京都の都市景観の創生に関心をお持ちの多くの方々にご参集いただき、市民・行政・企業・専門家といった立場を超えて、京都の都市景観の創生の可能性を語り合いたいと思います。

共 催：京都市、日本建築学会、京都市景観・まちづくりセンター

日 時：2008年3月2日（日）13:30～17:00

場 所：ひと・まち交流館京都 大会議室（京都市下京区西木屋町通上ノ口上る梅湊町 83-1
TEL.075-354-8711）（<http://www.hitomachi-kyoto.jp/access.html>）

定 員：200名

参加費：無料

主旨説明

京都の都市景観の創生に向けてどう取り組むか

京都の都市景観の創生特別委員会・委員長

門内 輝行（京都大学大学院教授）

京都市の取組について

京都市の新景観政策の現状と課題

高谷 基彦（京都市都市計画局景観政策課長）

主題解説

・京都の都市景観のランドデザイン

モザイク都市としての京都の景観構造

門内 輝行（前掲）

京都の地域性とランドデザイン

大西國太郎（京都造形芸術大学客員教授）

住宅・まちづくりとランドデザイン

高田 光雄（京都大学大学院教授）

・景観デザインと評価

京都の都市景観と現代建築のデザイン

岡崎 甚幸（武庫川女子大学教授、京都大学名誉教授）

創造的な景観コントロールの可能性

山崎 正史（立命館大学教授）

景観評価システムの構築に向けて

船越 徹（株）アルコム取締役会長、東京電機大学名誉教授）

ディスカッション

まとめ・挨拶

三村 浩史（（財）京都市景観・まちづくりセンター理事長、京都大学名誉教授）

コーディネータ 石田潤一郎（京都工芸繊維大学教授）

（敬称略）

申込み：FAX または E-mail にて「京都の都市景観の創生シンポジウム、氏名、勤務先、所属、連絡先」を明記してお申込み下さい（参加いただけない場合のみ連絡いたします。当日参加も歓迎します）。
日本建築学会事務局 川田昭朗（FAX：03-3456-2058、E-mail：kawata@aij.or.jp）